

## 野菜



### 春インゲン栽培



#### 野菜

小林 優介  
下島営農指導センター  
080-1729-1635

		12	1	2	3	4	5	6
作型	露地			●	●	●	■	■
	ハウス		●	●	●	■	■	

※備考…●(播種)、■(収穫期間)

品種…ベストクroppキセラ

本圃の準備…土壌が肥沃で排水・保水性が良く耕土が深い圃場を選定する。

施肥…肥料は有機質肥料が緩効性肥料を用いる。また、追肥については開花時期から着果時期が最も肥料吸収が大きいので開花前5日頃より行う。

施肥量 (kg/10a)

	窒素	リン酸	加里
基肥	13	20	13
追肥	10	10	10
合計	23	30	23

畦立て…30cm以上の高畦を作り、露地の場合は地温を上げるために黒マルチを使用する。マルチ被服を行う場合は土壌水分が適湿状態で行う。

播種…畦幅1.5～2m、条間40cm、株間35cmとし、1穴当たり2～3粒播き軽く覆土を行う。発芽までは極力かん水を控え、不足気味であれば敷きわらを植え穴にかぶせやや土を湿らせる程度にかん水を行う。

※立ち枯れ病予防にタチガレン液剤1000倍を灌注する。

間引き…発芽後本葉2枚が展開した頃に1本に間引きする。間引き後は土寄せを行い株の安定を図る。

灌水…生育初期は乾燥気味になるためこまめに行い、生育が妨げられないようにする。開花時期頃より土壌水分が不足場合のみチューブで天候をみながら4～5日おきに灌水する。必ず晴天日の午前中に行う。

温度管理…昼間温度適温 23～26℃

・夜間温度適温 15～17℃

・地温の適温 22～23℃

誘引・摘葉…誘引は必ず行い、光線の確保と養分の転流がスムーズに行われるようにする。

混み合う葉や病葉、老化葉は早めに摘葉を行い株の内部に日光を当てる。1度に多くの摘葉を行うと草勢が低下するので注意する。

## 畜産



### 子牛の寒冷対策について



#### 畜産

園田 遼海  
下島営農指導センター  
080-1795-9380

近頃は、急激に気温が下がり、朝晩と日中の寒暖差が激しくなってきました。病気やストレスによって発育に悪影響が出れば、その損失も大きなものになりますので、できる限りそれらをなくしていくことが重要となります。一般的に牛は寒さに強く暑さに弱いと言われますが、子牛の時は寒さへの対応能力も高くありません。秋が終わり、寒さも一段と厳しさを増してくるこの時期には、確実な寒冷対策が必要です。

#### ・冬期の寒冷対策

牛舎内の温度が下がる今の時期は、子牛が体調を崩して下痢をしたり、被毛が伸びてぼさぼさになっていることが見られます。子牛の適温域は13℃～25℃、低温側では5℃以下になると発育に悪影響を及ぼすと言われています。

特に、生後3か月齢未満の子牛では皮下脂肪が薄いうえ、反芻胃での熱産生も期待できません。寒冷ストレスを与えない為、次の3つの点に気を付けましょう。

#### (1) 子牛に風を当てない

子牛に風が当たる時、風の温度が低いほど、風速が上がるほど奪われる熱が多くなります。子牛に隙間風が当たらないよう、隙間を塞ぐなどの対策が必要です。

ただし、保温ばかりに気をとられてアンモニアガスなどが滞留しないよう、換気にも気を配りましょう。

#### (2) 牛体や床を濡らさない

子牛の体が何らかの理由で濡れると、それが乾く際に体温が奪われます。何よりも子牛の体を濡らさないように、裁断

した稲わらや粗めのおがくず、もみ殻などを夏期よりも多めに敷き、こまめに交換しましょう。

また、敷料を節約するために、成牛用の牛床マットや人間の風呂マットを敷いたり、子牛が休める大きさの木枠ベッドを作って敷料を入れるのも効果的です。

#### (3) 冷えた壁に直接触れさせない

子牛を牛舎の通路などに繋いでいる場合、たとえ子牛の体が外壁に触れていなくても、壁から伝わる冷気によって体温が奪われます。

壁と子牛の間にコンパネやベニヤなどの熱伝導性が低い材料を設置し、冷気を遮断すると良好です。これら以外にも、ハロゲンランプやカーボンヒーターなどの設置、ネックウォーマーや防寒ベストなどの着用、哺乳量や飼料給与量の増量、ぬるま湯の給与やミルクの温度低下に注意することなども、子牛の発育を維持する為には有効な寒冷対策です。

#### ・今後の対策

病気やストレスを完全になくすことは難しいですが、それぞれの飼養管理の中でできるだけ減らしていくことが大切です。生産者の方の創意工夫や、畜産資材などを用いることでこれらの病気を予防することが可能です。より良い経営を行うため、下痢や食欲低下等をなくして良い子牛の生産に努めましょう。

果樹



## 加温デコポン（12月）管理



果樹

木蜜 栄次  
上島営農指導センター  
080-1759-0088

本年産もいよいよ収穫時期となりました。収穫前の貯蔵病害の防除と収穫時のはさみ傷など注意し、丁寧な取り扱いを行いましょ。

### 1. 管理作業

月	12月		
日	1日	10日	20日
収穫終わりからの日数		0日	10日
生育相	収穫終わり	樹勢回復	加湿機調整
水管理	樹勢回復のため、充分かん水を行う。		
最高温度	15℃		
最低温度	5℃		

※収穫終了日は、12月10日です。

### 2. 防除

病害虫名	農薬名	倍数	収穫前日数	年間使用回数	備考
ミカンハダニ	スターマイトフロアブル	2,000倍	7日	1回	
	ダニコングフロアブル	3,000倍	前日	1回	

### 3. 収穫後の管理

- ①水戻しの実施 充分なかん水の実施。(20~30mm程度。)
- ②樹勢回復 チョソ主体の葉面散布を集中散布。3~5日間隔で3回程度。(葉色等を観察しながら実施) 尿素 500倍 又は アミノジューシー N-14 500倍
- ③花芽分化促進 加温開始30日前からPK主体の葉面散布の集中散布実施3~5日間隔で3回程度。ファーマメント500倍 又は ジューシーエース 500倍
- ④天井ビニル除去 基本的には樹勢回復後、加温開始前までは巻き上げましょ。
- ⑤次年産の計画 本年産を振り返り、次年産の計画を立てましょ。(加温開始日等)

※霜や寒風等で被害が心配される時には被覆をしておく。

収穫前には必ず土壌分析の検査を行いましょ。

## 子牛セリ市開催

11月17日に天草家畜市場で今年最後の子牛セリ市が開催されました。子牛のセリ市は奇数月の17日に開催されています。

JAあまくさ管内からは148頭(全体で279頭)の子牛がセリにかけられ、平均価格は794千円(全体平均は798千円)となり9月のセリと比較して約161千円(全体では147千円)と大きく上回りました。GOTOトラベルやGOTOイートなどによる消費回復が購買者の購買意欲につながったものと考えられます。

崎本組合長も今年最後の子牛セリに立ち会い、平均価格が回復したことに組合員と共に喜びを分かち合いました。



## 土耕ハウスの定植完了！ スクスク成長しています

有明町にある研修ハウスのうち「土耕栽培ハウス」ではミニトマト苗の定植が完了！スクスクと成長しています。「次世代環境制御型ハウス」の方ではミニトマトの収穫が続いており、訪れた日も美味しそうなミニトマトが沢山実っていました。

JAあまくさでは農業研修ハウスを運営し、農業研修生の受入・指導・支援を随時行っています。興味がある方は本所指導販売部営農企画課(TEL:0969-22-1105)までお気軽にお問い合わせください。



～農機センターからお知らせ～

## 使わなくなった農業機械を引取希望者へ紹介いたします！

もう使わなくなった農業機械が倉庫に眠っていませんか？「だれか必要な人がいれば譲りたい」という方の農業機械を広報誌などに掲載し、引取希望者への紹介をいたします。掲載・紹介にかかる手数料は無料です！各農機センターへお気軽にご相談ください。

大矢野農機センター：080-2735-0029 上島農機センター：0969-53-1139 下島農機センター：0969-78-4980

※農業機械の点検修理・運搬などが必要な場合などもお気軽にご相談ください。(別途手数料が発生いたします。)